

宮崎海岸侵食対策検討委員会 第7回効果検証分科会

平成28、29年度の侵食対策実施状況

平成29年度の調査実施状況

宮崎海岸市民談義所の開催状況

---

国土交通省・宮崎県

平成30年9月14日



## 目次

<b>平成 28、29 年度の侵食対策実施状況</b> .....	1
第 1 章 平成 28 年度迄の侵食対策の実施状況.....	2
1.1 養浜.....	2
1.2 突堤.....	3
1.3 埋設護岸.....	4
第 2 章 平成 28 年度の侵食対策実施状況.....	5
2.1 養浜.....	7
(1) 一ツ瀬川河口右岸.....	7
(2) 大炊田.....	8
(3) 石崎浜.....	9
(4) 動物園東.....	10
(5) 住吉.....	11
(6) 住吉沖.....	12
2.2 突堤.....	13
2.3 埋設護岸.....	14
2.4 その他.....	16
第 3 章 平成 29 年度の侵食対策実施状況.....	17
3.1 養浜.....	18
(1) 大炊田.....	18
(2) 石崎浜.....	19
(3) 動物園東.....	20
3.2 埋設護岸.....	21
<b>平成 29 年度の調査実施状況</b> .....	22
<b>宮崎海岸市民談義所の開催状況</b> .....	25
第 1 章 第 38 回宮崎海岸市民談義所の報告.....	27
第 2 章 第 39 回宮崎海岸市民談義所の報告.....	28
第 3 章 第 40 回宮崎海岸市民談義所の報告.....	29

## 平成 28、29 年度の侵食対策実施状況

---

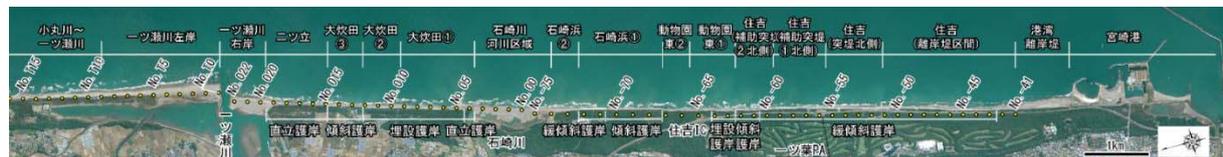
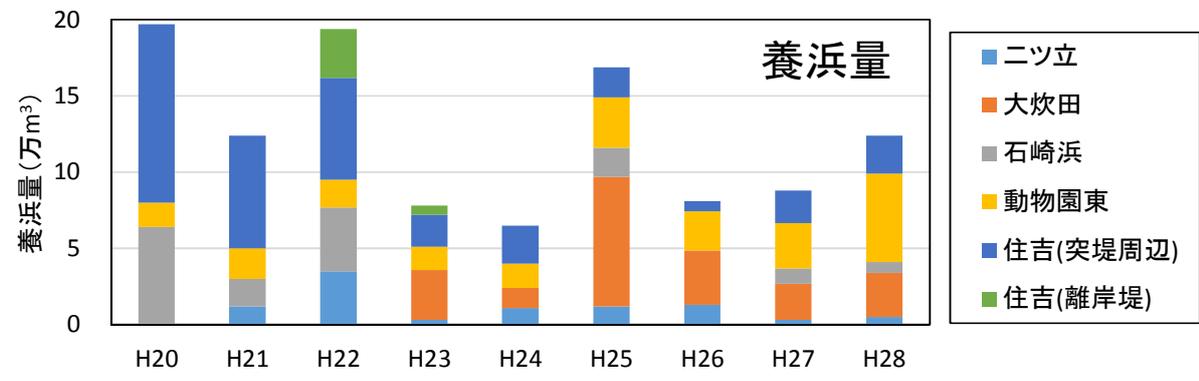
---

# 第1章 平成28年度迄の侵食対策の実施状況

## 1.1 養浜

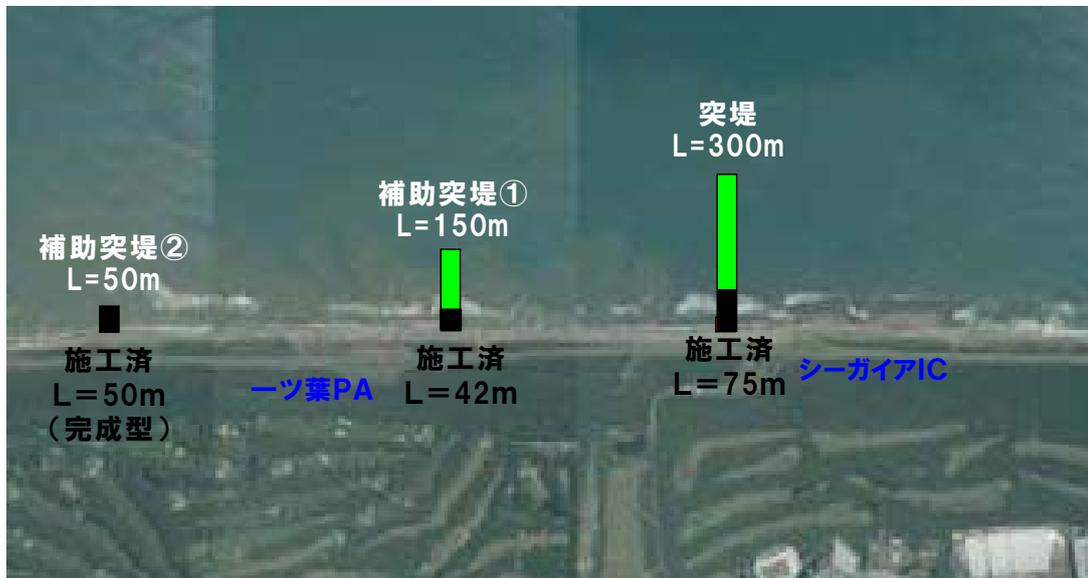
計画全体数量	280万 m <sup>3</sup>
直轄化以降 (平成20年度～28年度)	112.0万 m <sup>3</sup> * うち、35.8万 m <sup>3</sup> は住吉海岸への海中養浜、 3.8万 m <sup>3</sup> は住吉海岸離岸堤裏への投入
計画策定以降 (平成23年度～28年度)	60.5万 m <sup>3</sup> * うち、10.0万 m <sup>3</sup> は住吉海岸への海中養浜、 0.6万 m <sup>3</sup> は住吉海岸離岸堤裏への投入

		養浜投入年度									計
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	
(和暦)	(西暦)	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	
投入場所	ニツ立	0.0	1.2	3.5	0.3	1.1	1.2	1.3	0.3	0.5	9.4
	大炊田	0.0	0.0	0.0	3.3	1.3	8.5	3.6	2.4	2.9	21.9
	石崎浜	6.4	1.8	4.2	0.0	0.0	1.9	0.0	1.0	0.7	16.0
	動物園東	1.6	2.0	1.8	1.5	1.6	3.3	2.6	3.0	5.8	23.2
	住吉(突堤周辺)	11.7	7.4	6.7	2.1	2.5	2.0	0.7	2.1	2.5	37.7
	住吉(離岸堤)	0.0	0.0	3.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
計		19.7	12.4	19.4	7.8	6.5	16.9	8.1	8.8	12.4	112.0



## 1.2 突堤

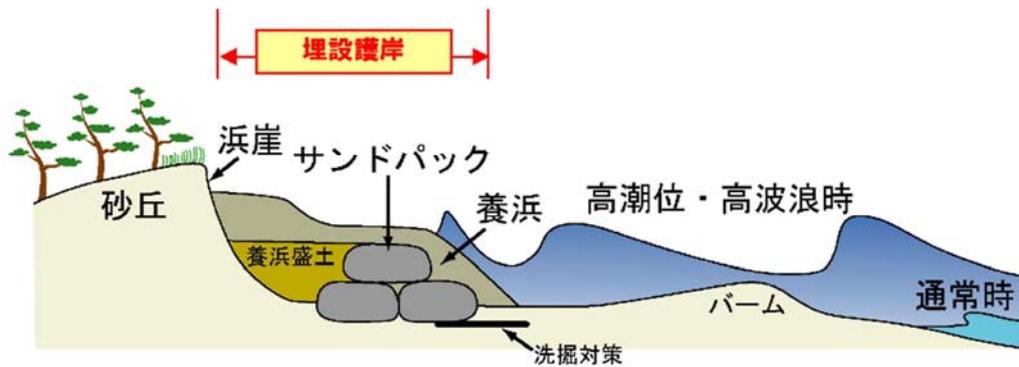
施設	延長等	宮崎海岸の侵食対策に求められる機能との対応	主な目的
突堤	計 75m ・H24 年度 : 30m ・H25 年度 : 45m ・H28 年度 : 被覆ブロック再設置	機能② : 沿岸方向の 流出土砂の減少	宮崎海岸から南へ 流出する土砂を減 らす
補助突堤①	計 42m ・H28 年度 : 42m		
補助突堤①	計 50m (完成型) ・H28 年度 : 50m		



### 1.3 埋設護岸

場所	延長等	宮崎海岸の侵食対策に求められる機能との対応	主な目的
大炊田地区	<p>計 1,600m</p> <p>・H25 年度 : 1,600m</p> <p>・H28 年度 : 一部補修</p> <p>※KDDI タワー前面の 20m 程度区間は袋詰玉石で仮設施工済み</p>	機能③: 浜崖頂部高の低下防止	○越波・浸水の防止のため砂丘の高さを確保
動物園東地区	<p>計 720m</p> <p>・H26 年度 : 280m</p> <p>・H28 年度 : 440m</p>		

#### 埋設護岸断面図



## 第2章 平成28年度の侵食対策実施状況

### 《平成28年度に実施した侵食対策の概要 1/2》

養 浜					
場 所	材 料	養浜量 (万 m <sup>3</sup> )	侵食対策に求めら れる機能との対応	主な目的	事業名等 (空欄は国海岸)
一ツ瀬川 河口右岸 (陸上)	一ツ瀬川河口 浚渫土砂	0.5	沿岸方向の流 入土砂の増加	○二ツ立海岸、大炊田海 岸への土砂供給	浚渫・運搬：県漁港
大炊田 (陸上)	川南漁港掘削土砂	1.0	急激な侵食の 抑制	○浜崖頂部高の低下を抑制 するための土砂供給 ○急激な侵食の抑制に資 する養浜 ○サンドパックの覆土砂	運搬：県港湾
	みやざき臨海公園 マリナー仮置土砂	0.4			運搬：国海岸
	みやざき臨海公園 ビーチ整地土砂	0.4			運搬：国海岸
	大淀川河口仮置土砂	0.4			運搬：国海岸
	小丸川掘削土砂	0.3			運搬：国河川
	佐土原浄化センター 掘削土砂	0.4		運搬：宮崎市	
石崎浜 (陸上)	大淀川河口仮置土砂	0.3	浜崖頂部高の 低下防止	○浜崖頂部高の低下を抑制 するための土砂供給	運搬：国海岸
	天神川掘削土砂	0.1			運搬：県河川
	小丸川掘削土砂	0.3			運搬：国河川
動物園東 (陸上)	大淀川河口仮置土砂	1.7	急激な侵食の 抑制	○浜崖頂部高の低下を抑制 するための土砂供給 ○急激な侵食の抑制に資 する養浜	運搬：国海岸
	石崎浜仮置土砂 (本庄川掘削土砂)	0.1			運搬：国海岸
	宮崎港仮置土砂	0.5			運搬：国海岸
	三財川掘削土砂	3.0			運搬：県河川
	みやざき臨海公園 ビーチ整地土砂	0.2			運搬：国海岸
	大淀川河口仮置土砂	0.3			運搬：国海岸
住吉 (陸上)	みやざき臨海公園 マリナー仮置土砂	0.5	沿岸方向の流 入土砂の増加	○住吉海岸への 土砂供給	運搬：国海岸
	みやざき臨海公園 ビーチ整地土砂	0.3			運搬：国海岸
	宮崎港仮置土砂	0.6			運搬：国海岸
住吉海岸沖 (海中)	宮崎港マリナー	1.1	沿岸方向の流 入土砂の増加	○効率的な養浜方法の 検討(海中養浜) ○一ツ葉有料PA沖への 土砂供給	浚渫・運搬：県港湾
合計		12.4			
【参考】 ストック養浜 (石崎浜仮置)	本庄川掘削土砂	0.4	—	○土砂のストック	運搬：国河川
	小丸川掘削土砂	0.2	—		運搬：国河川



《平成 28 年度に実施した侵食対策の概要 2/2》

突堤					
場 所	工事概要		侵食対策に求められる機能との対応	主な目的	備考
住吉	突堤天端被覆補修	L=75m	—	—	
	補助突堤①設置	L=42m	沿岸方向の流出土砂の減少	○宮崎海岸から南へ流出する土砂を減らす	
	補助突堤②設置	L=50m	沿岸方向の流出土砂の減少	○宮崎海岸から南へ流出する土砂を減らす	完成形
埋設護岸					
場 所	工事概要		侵食対策に求められる機能との対応	主な目的	備考
動物園東	埋設護岸災害復旧	—	浜崖頂部高の低下防止	○埋設護岸の機能復旧および再度災害防止	H27 年度より継続工事
	埋設護岸延伸・再設置	L=440m	浜崖頂部高の低下防止	○越波・浸水の防止のため砂丘の高さを確保	
大炊田	埋設護岸補修	—	浜崖頂部高の低下防止	○埋設護岸の機能復旧および再度災害防止	



## 2.1 養浜

### (1) 一ツ瀬川河口右岸

目的	侵食が著しい箇所（二ツ立海岸、大炊田海岸）への土砂供給
養浜量	約 0.5 万 m <sup>3</sup>
材料	一ツ瀬川河口航路浚渫土砂
施工期間	2016 (H28) 年 11 月～2016 (H28) 年 12 月
連携	漁港事業（県）と連携した養浜 （県港湾事務所による実施）



養浜実施箇所

航路浚渫イメージ



ダンプ運搬イメージ



ブルドーザ押土イメージ



(2) 大炊田

目的	浜崖頂部高の低下を抑制するための土砂供給 急激な侵食の抑制に資する養浜 サンドバックの覆土砂
養浜量	約 2.0 万 m <sup>3</sup>
材料	川南漁港掘削土砂 (1.0 万 m <sup>3</sup> ) みやざき臨海公園マリーナ仮置土砂 (0.4 万 m <sup>3</sup> ) みやざき臨海公園ビーチ整地土砂 (0.4 万 m <sup>3</sup> ) 大淀川河口仮置土砂 (0.4 万 m <sup>3</sup> ) 小丸川掘削土砂 (0.3 万 m <sup>3</sup> ) 佐土原浄化センター掘削土砂 (0.4 万 m <sup>3</sup> )
施工期間	2016(H28)年 4月～6月、10月、12月 2017(H29)年 2月～3月
連携	河川事業(国)と連携した養浜 漁港事業(県)と連携した養浜 宮崎市と連携した養浜



養浜実施箇所



実施箇所状況

(3) 石崎浜

目的	○浜崖頂部高の低下を抑制するための土砂供給
養浜量	約 0.7 万 m <sup>3</sup>
材料	大淀川河口仮置土砂 (0.3 万 m <sup>3</sup> ) 天神川掘削土砂 (0.1 万 m <sup>3</sup> ) 小丸川掘削土砂 (0.3 万 m <sup>3</sup> )
施工期間	2016 (H28) 年 5 月、9 月、2017 (H29) 年 1 月
連携	河川事業 (県) と連携した養浜 河川事業 (国) と連携した養浜



養浜実施箇所



実施箇所状況

(4) 動物園東

目的	浜崖頂部高の低下を抑制するための土砂供給 急激な侵食の抑制に資する養浜
養浜量	約 4.1 万 m <sup>3</sup>
材料	大淀川河口仮置土砂 (1.7 万 m <sup>3</sup> ) 石崎浜仮置土砂 (本庄川掘削土砂) (0.1 万 m <sup>3</sup> ) 宮崎港仮置土砂 (0.5 万 m <sup>3</sup> ) 三財川掘削土砂 (3.0 万 m <sup>3</sup> ) みやざき臨海公園ビーチ整地土砂 (0.2 万 m <sup>3</sup> ) 大淀川河口仮置土砂 (0.3 万 m <sup>3</sup> )
施工期間	2016 (H28) 年 7 月～2017 年 (H29) 年 1 月
連携	河川事業 (国) と連携した養浜 港湾事業 (県) と連携した養浜 漁港事業 (県) と連携した養浜



養浜実施箇所



実施箇所状況

(5) 住吉

目的	沿岸方向の流入土砂の増加
養浜量	約 1.4 万 m <sup>3</sup>
材料	みやざき臨海公園マリーナ仮置土砂 (0.5 万 m <sup>3</sup> ) みやざき臨海公園ビーチ整地土砂 (0.3 万 m <sup>3</sup> ) 宮崎港仮置土砂 (0.6 万 m <sup>3</sup> )
施工期間	2016 (H28) 年 5 月～6 月、2017 (H29) 年 2 月
連携	港湾事業 (県) と連携した養浜



実施箇所状況

(6) 住吉沖

目的	沿岸方向の流入土砂の増加
養浜量	約 1.1 万 m <sup>3</sup>
材料	みやざき臨海公園マリーナ航路浚渫土砂 (1.1 万 m <sup>3</sup> )
施工期間	2016 (H28) 年 11 月～12 月
連携	港湾事業 (県) と連携した養浜

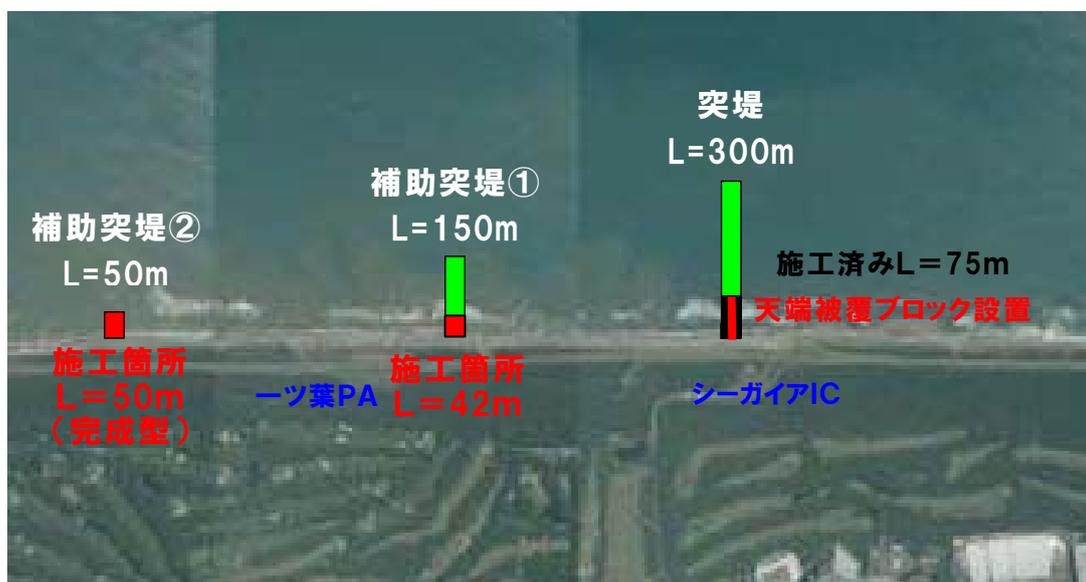
宮崎港マリーナ航路浚渫土砂

港湾事業 (県) により航路を浚渫、土砂を運搬し養浜



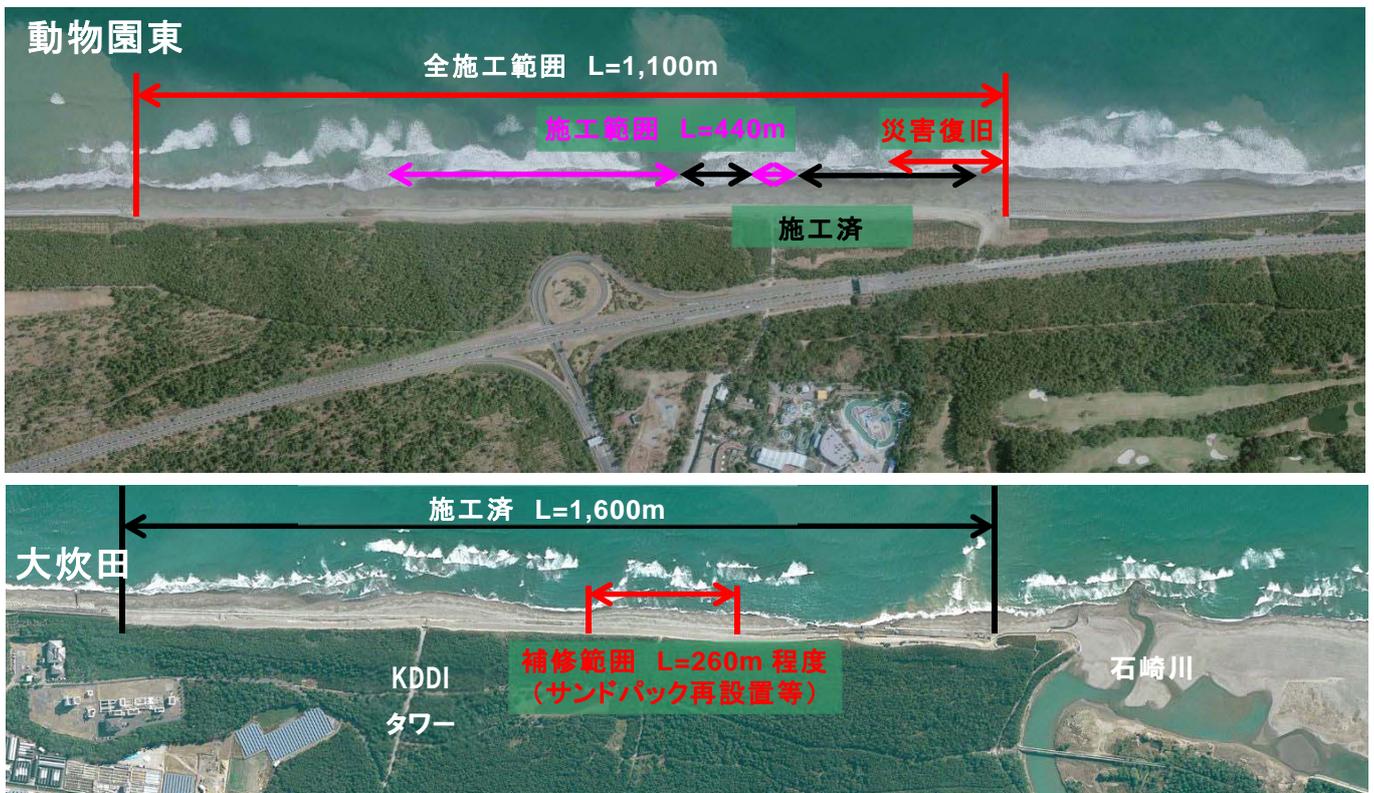
## 2.2 突堤

内容	南へ流出する土砂を減らすための突堤建設工事
工事概要	突堤 天端被覆ブロック設置・側面ブロック再設置 (L=75m) 補助突堤① 突堤延長 L=42m 補助突堤② 突堤延長 L=50m (完成型)
施工期間	突堤 2016 (H28) 年 5 月～9 月 補助突堤① 2016 (H28) 年 1 月～6 月 補助突堤② 2016 (H28) 年 5 月～2017 (H29) 年 3 月

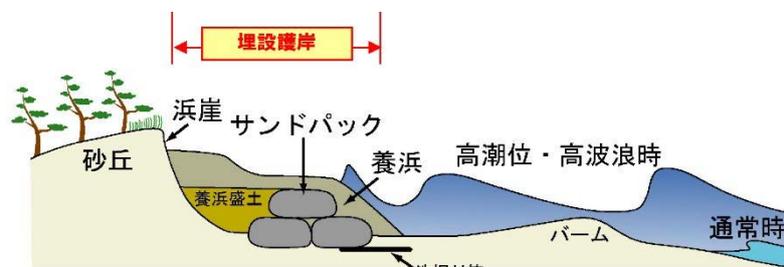


## 2.3 埋設護岸

内容	浜崖頂部高の低下を抑制するための埋設護岸及び養浜	
工事概要	動物園東 埋設護岸災害復旧 埋設護岸延伸・再設置 L=440m 大炊田海岸 埋設護岸補修	
施工期間	動物園東 復旧	2016(H28)年3月～2017(H29)年1月
	延伸・再設置	2016(H28)年12月～2017(H29)年6月
	大炊田海岸 補修	2016(H28)年4月～7月
連携	河川事業(国)と連携した養浜	



工事位置図



埋設護岸断面図



実施箇所状況

## 2.4 その他

内容	護岸災害復旧工事
工事概要	浜山コンクリート護岸・根固工 L=285m
施工期間	2016(H28)年3月～2017(H29)年9月(予定)



工事位置図



実施箇所状況

### 第3章 平成 29 年度の侵食対策実施状況

#### 《平成 29 年度に実施した侵食対策の概要》

養 浜					
場 所	材 料	養浜量 (万 m <sup>3</sup> )	侵食対策に求めら れる機能との対応	主な目的	事業名等 (空欄は国海岸)
大炊田 (陸上)	小丸川掘削土砂	0.2	急激な侵食の 抑制	○浜崖頂部高の低下を抑制 するための土砂供給 ○急激な侵食の抑制に資 する養浜 ○サンドパックの覆土砂	掘削・運搬：国河川
石崎浜 (陸上)	三財川掘削土砂	1.2	浜崖頂部高の 低下防止	○浜崖頂部高の低下を抑制 するための土砂供給	運搬：県河川
動物園東 (陸上)	宮崎港仮置土砂	1.6	急激な侵食の 抑制	○浜崖頂部高の低下を抑制 するための土砂供給 ○急激な侵食の抑制に資 する養浜	運搬：国海岸
	石崎浜仮置土砂	0.5			運搬：国海岸
	みやざき臨海公園 ビーチ整地土砂	3.6			運搬：国海岸
	三財川掘削土砂	1.6			運搬：県河川
合計		8.7			



突 堤					
場 所	工事概要		侵食対策に求めら れる機能との対応	主な目的	備考
(未実施)					
埋設護岸					
場 所	工事概要		侵食対策に求めら れる機能との対応	主な目的	備考
動物園東	埋設護岸延伸	L=220m	浜崖頂部高の 低下防止	○越波・浸水の防止のため 砂丘の高さを確保	



### 3.1 養浜

#### (1) 大炊田

目的	浜崖頂部高の低下を抑制するための土砂供給 急激な侵食の抑制に資する養浜 サンドバックの覆土砂
養浜量	約 0.2 万 m <sup>3</sup>
材料	小丸川掘削土砂 (0.2 万 m <sup>3</sup> )
施工期間	2017(H29)年 12 月
連携	河川事業(国)と連携した養浜



養浜実施箇所



実施箇所状況

(2) 石崎浜

目的	○浜崖頂部高の低下を抑制するための土砂供給
養浜量	約 1.2 万 m <sup>3</sup>
材料	三財川掘削土砂 (1.2 万 m <sup>3</sup> )
施工期間	2017 (H29) 年 11 月～2018 (H30) 年 1 月
連携	河川事業 (県) と連携した養浜



養浜実施箇所



実施箇所状況

(3) 動物園東

目的	浜崖頂部高の低下を抑制するための土砂供給 急激な侵食の抑制に資する養浜
養浜量	約 7.3 万 m <sup>3</sup>
材料	宮崎港仮置土砂 (1.6 万 m <sup>3</sup> ) 石崎浜仮置土砂 (0.5 万 m <sup>3</sup> ) みやざき臨海公園ビーチ整地土砂 (3.6 万 m <sup>3</sup> ) 三財川掘削土砂 (1.6 万 m <sup>3</sup> )
施工期間	2017 (H29) 年 5 月～2018 (H30) 年 3 月
連携	河川事業 (県) と連携した養浜 港湾事業 (県) と連携した養浜



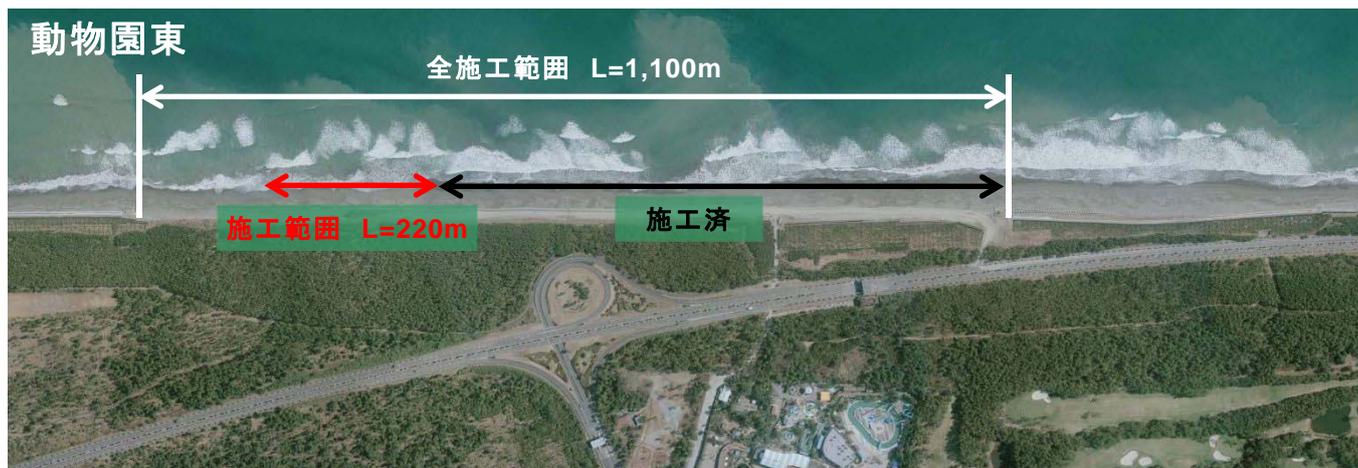
養浜実施箇所



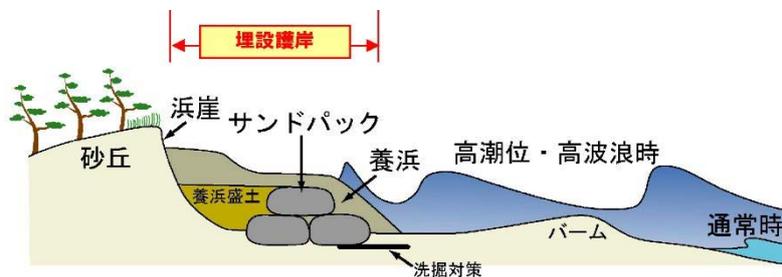
実施箇所状況

### 3.2 埋設護岸

内容	浜崖頂部高の低下を抑制するための埋設護岸及び養浜
工事概要	動物園東 埋設護岸延伸 L=220m
施工期間	動物園東 延伸 2017(H29)年8月～2018(H30)年3月
連携	港湾事業(県)と連携した養浜



工事位置図



埋設護岸断面図



実施箇所状況

## 平成 29 年度の調査実施状況

---

---

# 第1章 平成29年度の調査実施状況

調査項目		詳細な調査手法(案)	実施場所・範囲	実施間隔	
海象・漂砂	1.潮位観測	水位計を定点に設置・観測	宮崎港	毎年	
	2.波浪観測	波高・流速計を定点に設置・観測	ネダノ瀬	毎年	
	3.風向・風速観測	風向・風速計を定点に設置・観測	赤江(気象庁)	毎年	
	4.流向・流速観測	流速計を定点に設置・観測 フロート、染料による表層流れの調査	突堤周辺、県離岸堤区域、動物園東、大炊田海岸	毎年	
	5.トレーサー調査	着色砂等を用いた砂の追跡移動調査	突堤周辺	必要に応じて	
	6.海底ビデオ	ダイバーによる海底ビデオ撮影	海抜(T.P.)-12mよりも深い場所での代表点	必要に応じて	
	7.底質コアサンプリング	底質の鉛直方向の採取と放射年代測定等	突堤の北側にトレーサー投入、突堤の南北で追跡調査	必要に応じて	
	8.飛砂調査	飛砂トラップ調査	代表測線	必要に応じて	
	9.流砂量観測	河川流量観測、掃流砂調査、浮遊砂調査等	砂浜が回復し飛砂が問題になった場所	必要に応じて	
測量	10.地形測量	汀線横断測量 浜崖横断測量 マルチファン・ビーム等を用いた面的な測量	小丸川・一ツ瀬川	必要に応じて	
		マルチファン・ビーム、シングル・ビーム等を用いた測量	宮崎港南防波堤～一ツ瀬川河口(自然浜区間の埋設護岸設置箇所及び浜崖頂部背後を含む区間)	毎年	
			一ツ瀬川～小丸川	毎年	
			前年度工事を行った箇所や侵食が激しい箇所など、注目すべき地点	必要に応じて	
	11.空中写真	飛行機等による垂直空中写真撮影	代表測線(水深T.P.-10～-12mより深い場所)	毎年	
12.カメラ観測	カメラ観測機材を定点に設置・観測	県離岸堤区域～小丸川	必要に応じて		
13.突堤・離岸堤堤体の点検	直接水準測量もしくはレーザー測量 堤防点検等の手法を準用(潜水目視観察含む)	シーガイアIC、一ツ葉PA、動物園東、石崎浜、大炊田(新設)、クレーンパーク東、富田浜	毎年		
環境・利用	水質	14.水質調査(汀線部)	施工箇所周辺の汀線際バケツ採水、分析(SS、濁度)	宮崎港南防波堤～一ツ瀬川河口(自然浜区間の埋設護岸設置箇所及び浜崖頂部背後を含む区間)	毎年
		15.水質調査(カメラ監視)	一ツ葉ライブカメラ等を用いた日常監視	一ツ瀬川～小丸川	毎年
		16.水質調査(海中部)	採水器による海中養浜周囲の採水、分析(SS、濁度)	前年度工事を行った箇所や侵食が激しい箇所など、注目すべき地点	必要に応じて
	底質	17.底質調査	採泥器、ダイバーによる底質採取、分析(粒度、土粒子密度)	当該年度の施工箇所周辺(汀線際)	必要に応じて
		18.養浜材調査	養浜材の分析(水底土砂判定基準項目)	県離岸堤北端～一ツ瀬川	必要に応じて
	浮遊・付着・幼稚仔	19.浮遊生物調査	採水、ネットを用いたプランクトン採取、分析	当該年度の施工箇所周辺(海上)	必要に応じて
		20.付着生物調査	潜水目視観察および枠内採取、分析	住吉海岸(広域1地点)	毎年
		21.幼稚仔調査	サーフネットを用いた採取、分析	住吉海岸(広域1地点)	毎年
	底生生物	22.底質・底生生物調査	採泥器、ソリネットによる底質採取、分析(底生生物、底質環境)	宮崎港～小丸川(広域3エリア)	毎年
			ソリネットによる底質採取、分析(底生生物、底質環境) Dフレームネット等を用いた定性採取法	宮崎港～小丸川(砂丘～T.P.-12m:標高1mピッチ)(一ツ瀬川河口含む)	必要に応じて
	魚介類	23.魚介類調査	地元漁法(網漁法)による採取、分析	新規の養浜材発生場所	必要に応じて
			大型サーフネットによる採取、分析 潜水目視観察(付着は枠内採取)	宮崎港～小丸川(広域3エリア)	毎年
	植物	24.漁獲調査	統計データ調査	住吉海岸(突堤周辺および動物園東)のサーフゾーン	毎年
			統計データ調査	突堤および県離岸堤周辺	毎年
昆虫	25.植生断面調査	ライトトランセクト法、横断測量	宮崎港～小丸川(浅海域)	毎年	
		空中写真をもとに、踏査による目視・記録	宮崎港～小丸川(広域6測線)	毎年	
鳥類	26.植物相調査・植生図作成調査	任意採集法、ライトトラップ法、バイトトラップ法	宮崎港～小丸川	5年毎	
		任意採集法、ライトトラップ法、バイトトラップ法	宮崎港～小丸川(広域8地点)	5年毎	
アカウミガメ	27.鳥類調査	定点観察法、任意踏査による観察	宮崎港～小丸川(広域:3定点含む)	5年毎	
		定点観察法、任意踏査による観察	コアシサシの繁殖場所	毎年	
利用	28.コアシサシ利用実態調査	上陸・産卵痕跡の確認・記録、横断測量	宮崎港～一ツ瀬川	毎年	
		上陸・産卵痕跡の確認・記録、横断測量	宮崎港～一ツ瀬川	毎年	
景観	30.アカウミガメ上陸実態調査	文献調査	宮崎野生研の調査データの収集	毎年	
		固結調査	可搬型測定器を用いた貫入調査	宮崎港～一ツ瀬川	毎年
市民意見	31.文献調査	可搬型測定器を用いた貫入調査	宮崎港～一ツ瀬川	毎年	
		可搬型測定器を用いた貫入調査	宮崎港～一ツ瀬川	毎年	
新規調査	32.固結調査	漁船による操船調査	突堤周辺	必要に応じて	
		漁船による操船調査	突堤周辺	必要に応じて	
新規調査	33.漁船による操船調査	分布調査、聞き取り調査	養浜・突堤・埋設護岸施工箇所を含む宮崎海岸全体	毎年	
		分布調査、聞き取り調査	養浜・突堤・埋設護岸施工箇所を含む宮崎海岸全体	必要に応じて	
新規調査	34.分布調査	カメラ観測機材を定点に設置・観測	シーガイアIC、一ツ葉PA、動物園東(新)、大炊田(新)	必要に応じて	
		カメラ観測機材を定点に設置・観測	シーガイアIC、一ツ葉PA、動物園東(新)、大炊田(新)	必要に応じて	
新規調査	35.利用調査	現地及び視点場からの目視及び写真撮影	突堤及び埋設護岸設置箇所周辺	毎年	
		現地及び視点場からの目視及び写真撮影	突堤、埋設護岸	必要に応じて	
新規調査	36.カメラ観測	ヒアリング・アンケート等	突堤、埋設護岸	必要に応じて	
		ヒアリング・アンケート等	突堤、埋設護岸	必要に応じて	
新規調査	37.ヒアリング	聞き取り調査、書面等の確認の上要検討	問題が生じた場所およびその周辺	毎年	
		聞き取り調査、書面等の確認の上要検討	問題が生じた場所およびその周辺	毎年	
新規調査	38.ヒアリング	関係者による目視、市民による目視・通報、ドローン撮影	宮崎港～小丸川(砂丘～T.P.-12m:標高1mピッチ)(一ツ瀬川河口含む)	必要に応じて	
		関係者による目視、市民による目視・通報、ドローン撮影	宮崎港～小丸川(砂丘～T.P.-12m:標高1mピッチ)(一ツ瀬川河口含む)	必要に応じて	
新規調査	39.目視点検	(なし)	県離岸堤北端～大炊田海岸(直轄工事区間)	毎年	
		(なし)	県離岸堤北端～大炊田海岸(直轄工事区間)	毎年	



確認事項				前回調査	前回までの効率化	今回効率化	実施予定	2017(平成29)年度												今後の調査の方向性 (H30.10以降)	
前提条件	養浜 (機能①)	突堤 (機能②)	埋設護岸 (機能③)					4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
●				H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	1
●				H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	2
●				H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	3
●				H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	4
		●		未実施			実施しない	[Gantt bars]												状況により判断	
●				未実施			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	5
		●		H28年			実施しない	[Gantt bars]												状況により判断	
●				未実施			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	6
●				未実施			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	7
●	●			未実施			実施しない	[Gantt bars]												状況により判断	8
●				未実施			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	9
●	●	●	●	H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	
●				H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	10
	●	●	●	H28年			状況により判断	[Gantt bars]												状況により判断	
●				H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	
	●	●		H26年			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	11
	●	●	●	H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	12
		●		H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	13
	●			H24年			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	14
	●			H24年	○		実施しない	[Gantt bars]												実施しない	15
	●			H24年			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	16
●	●	●		H22年	○		実施しない	[Gantt bars]												実施しない	17
	●			H28年			新規の材料を投入する場合実施	[Gantt bars]												新規の材料を投入する場合実施	18
	●			H24年	○		実施しない	[Gantt bars]												実施しない	19
	●			H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	20
	●			H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	21
	●			H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	
	●	●		H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	22
	●			H26-27年			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	
	●			H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	23
	●			H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	
	●			H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	
	●			H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	24
	●		●	H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	25
	●		●	H26年			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	26
	●			H26-27年			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	27
	●			H26-27年			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	28
	●			H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	29
	●	●	●	H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	30
	●	●	●	H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	31
	●		●	H28年	○		従来どおり	[Gantt bars]												実施	32
		●		未実施			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	33
	●	●	●	H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	34
	●	●	●	H23年			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	35
		●	●	未実施			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	36
		●	●	未実施			従来どおり	[Gantt bars]												実施	37
			●	H27年			実施しない	[Gantt bars]												実施しない	
	●	●	●	H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	38
	●		●	H28年			従来どおり	[Gantt bars]												実施	39

## 宮崎海岸市民談義所の開催状況

---

第16回宮崎海岸侵食対策検討委員会以降の宮崎海岸市民談義所と委員会および分科会の開催状況を図-1に示す。

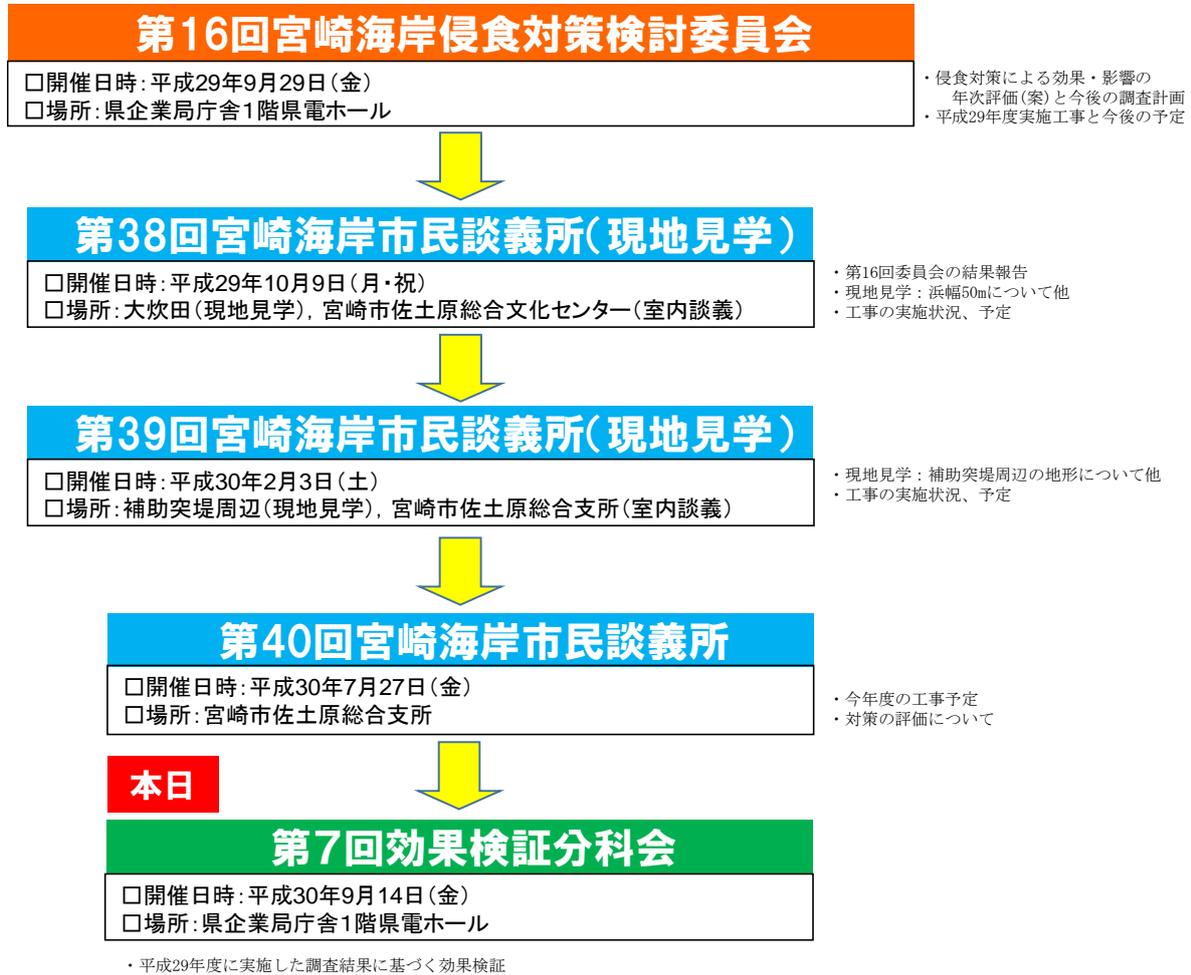


図-1 第16回侵食対策検討委員会以降の宮崎海岸市民談義所の開催状況

## 第1章 第38回宮崎海岸市民談義所の報告

開催日：平成29年10月9日（月・祝）

場所：佐土原総合文化センター研修室

参加した市民：11名

議事概要：

1. 宮崎海岸の侵食対策の概要
2. 第37回宮崎海岸市民談義所の振り返り
3. 報告（第16回委員会等の結果報告）
4. 今後の予定
5. 宮崎海岸の現状

### 【現地見学】

6. 談義（1）浜幅50mについて  
（2）現地をみて感じたこと
  7. その他
- 現地見学では大炊田地区において、現地を見学するとともに、浜幅を計測するとともに、事務局スタッフが海中に入り、前面海域の地形状況を確認・共有した。
  - 現地見学に引き続き室内にて、現地を見て感じたことや浜幅50mの感想について共有するとともに、養浜事業や海岸利用などについて談義を行った。



写真－1 現地見学(左)、事業主体からの説明(右)

## 第2章 第39回宮崎海岸市民談義所の報告

開催日：平成30年2月3日（土）

場所：佐土原総合支所研修室、現地（宮崎海岸 住吉地区）

参加した市民：16名

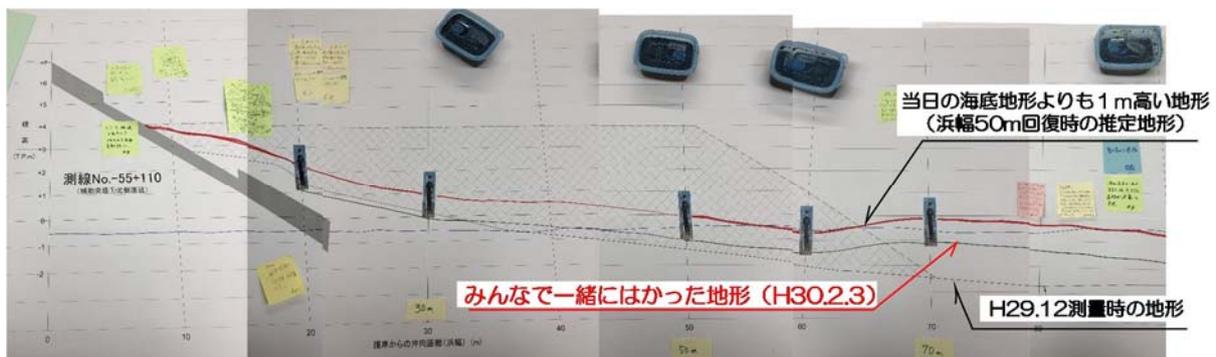
議事概要：

### 【現地見学】

1. 宮崎海岸の侵食対策の概要
  2. 第38回宮崎海岸市民談義所の振り返り
  3. 談義（1）補助突堤①の周辺地形について  
（2）現地をみて感じたこと
  4. 今後の予定
  5. その他
- 現地見学では、住吉地区の補助突堤①周辺において、現地を見学するとともに、海底地形や底質を確認した。
  - 現地見学に引き続き室内にて、現地を見て感じたことや補助突堤①周辺の海底の深さや底質の粒径などについて共有するとともに、そのような海底地形になっている理由や砂の動き、突堤の効果などについて談義した。



写真－2 現地見学(左)、事業主体からの説明(右)



写真－3 市民と確認した海底地形の状況

### 第3章 第40回宮崎海岸市民談義所の報告

開催日：平成29年7月27日（木）

場所：佐土原総合支所

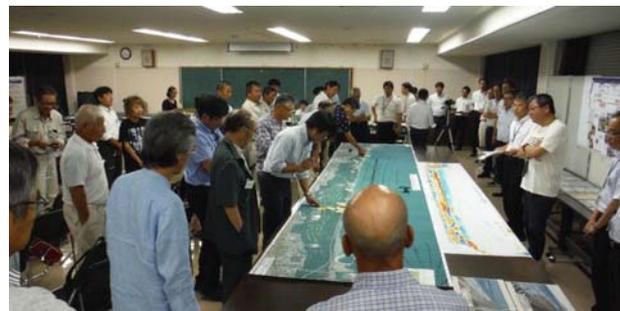
参加した市民：25名

議事概要：

1. 宮崎海岸の侵食対策の概要
  2. 第39回宮崎海岸市民談義所の振り返り
  3. 報告（工事の実施状況、予定他）
  4. 談義（対策の評価について）
  5. 談義（これからの市民談義所の進め方について）
  6. 今後の予定
  7. その他
- 平成28年度迄に実施した対策の効果検証について、防護・環境・利用面の効果・影響を説明した後、各対策の効果の評価についてワークショップ形式で談義した。また、今年度の工事スケジュールおよび今後実施予定の参加・体験型談義について説明した。
- 市民からは早期の工事实施を望む声が挙げられた。対策の見直しを考えたほうが良いのではといった意見も挙げられた。また、アカウミガメが埋設護岸を越えて産卵しているなどの情報提供もあった。



事業主体の説明



市民連携コーディネータによる談義

写真－4 談義の様子

表－ 1 対策の評価に対するコメント等(付箋紙意見)

分類	地点	記載内容
ウミガメ	9.8k	アカウミガメ状況について感じたこと
埋設護岸	9.0k	埋設護岸は構造物？耐用年数は？
サンドパック	8.8k	サンドパックは？
砂浜	8.2～8.4k	50m復元について
養浜		6ページの目標にある50mの浜のための流砂系(川砂)は
海岸	5.0k	サーフィン、釣り等、利用者が多くなっている。
埋設護岸		サンドパックがなければ浜崖はまだひどくなっていたと思います。
養浜	4.2k	動物園東は大炊田地区に比べ養浜効果がないのは何故
突堤、 補助突堤	2.8k	突堤を増やした方が良いのでは？
	2.4k	突堤について
	2.0k	突堤が伸びないのは何故
		突堤の早期完成
		突堤の高さが水面から高くなっているが砂が流出しているのではないか
本突堤の延長、工事の見通しは？		
防砂堤	—	宮崎港の防砂堤は本当に作れるのか
	—	防砂堤が出来た後の影響は？
宮崎港	—	港の砂の現状
全体	—	台風12号の進路にもよるが、エントロピーの問題も検討を始める必要があるのでは？
	—	6月末、松山から八幡浜に帰る自然は問題なかったが、今回の災害は予測不能だった
	—	これまでの事業進行は、説明を含め分かり易い

